

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-06 福祉センター管理運営事業						
主管課	福祉政策課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	福祉センターを適切に管理運営していく。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人			
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	42,497千円	53,065千円	53,911千円			
	(国・県)	0千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	1,570千円	1,487千円	1,640千円			
	(一般財源)	40,927千円	51,578千円	52,271千円			
	人員配置数	0.5人	0.5人	0.5人			
	人件費(千円)	4,487千円	4,626千円	4,597千円			
事務事業運営経費	協働のパートナー	無	無	無			
	総事業費(千円)	46,984千円	57,691千円	58,508千円			
	市民1人当りの経費(円)	265円	327円	332円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
福祉センター管理運営事業	42,497千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	福祉センターの効率的な管理運営を行う。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	消防機材など、交換できないものがあつた。			
課題解決のための取組	消火器を交換した。			
未解決の課題	センターの電気設備や排煙窓などの修繕が必要であり、利用者に負担をかけないように修繕を行う必要がある。			
今後の方針	施設の利用状況にあわせた計画的な施設内の設備修繕を行う。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ B	※ □事業完了	課長名 福祉政策課長 鈴木 善博

